

沙代のつぶやき

広報かわねほんちょう

平成25年3月号

発行：川根本町 編集：企画課広報情報室 〒0547-2221
住所：〒0547-2201 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
広報かわねほんちょうは再生素材を使用しています。

広報かわねほんちょうは、おたよりなどお持ちしています。
町に関する「広報」に関する「何れも無料」のサービスです。
FAX (56) 2235 役場企画課広報情報室までお問い合わせ。



12月30日(日)

今日は餅つき♪杵でつくのは難しかったけれど、その分つきたてのお餅はおいしかったです。一番おいしく食べられる瞬間に、食材の持つ魅力を引き出し、いただけることは幸せだな～と改めて思いました。



1月19日(土)

接岨峡の温泉会館で開催された梅津神楽に参加。笛を吹かせてもらいました。満足できるレベルではありませんが、最初の頃に比べて上達しました☆ 県指定の文化財だけあって活気があり、地区の子どもからお年寄り、みんなに愛されているお祭りなんだなと思えました。



1月21日(月)

茶茗館に中央小3年生が、全国茶品評会で入賞したお茶を飲みに来ました。スタッフに一番おいしく飲めるお茶の入れ方の指導を受けたり、茶の葉を食べたり、普段とは違う入賞茶にいろいろと発見があったようでした。



1月26日(土)

今日は音戯の郷でお手伝いです！私は「森のワンショット」がお気に入り。カメラで動物に向かってシャッターを切ると動物の鳴き声が聞けるんですよ～♪



12/30

鏡餅を作りました♪



1/19

梅津神楽の女子舞い手3人衆☆



1/21

和菓子と一緒に入賞茶をいただきました



1/21

普段は食べない茶の葉も楽しみました

年末年始はお餅の食べ方など、地域ならではの風習が色濃く継承された地域文化を勉強することができました。北海道では甘めの味付けを好むので、「きな粉もち」の他に、「砂糖醤油もち」も好んで食べます。トマトに砂糖を付けて食べる人もいます。所変われば…なんて言いますが、「ならではの」こそ地域の魅力なんだなあと思いました。

緑のふるさと協力隊・吉田沙代

